

ぼうさい通信

Vol.91



毎月16日は「防災教育啓発の日」

令和7年10月16日発行
熊本県立湧心館高等学校

今月のテーマ 水害から身を守る～台風・豪雨への備え～

近年、全国各地で集中豪雨や台風による水害が相次ぎ、家屋の浸水や道路冠水など大きな被害が発生しています。令和7年8月には、熊本県で線状降水帯が発生し、長時間にわたって大雨が続きました。その影響で多くの車が水没し、人々が避難を余儀なくされるなど深刻な被害が生じました。こうした水害は、私たちの身近な生活や学校活動にも影響を及ぼす恐れがあります。

今月の「ぼうさい通信」では、大雨や台風に備えるために必要な知識と、日ごろから実践できる行動のポイントを改めてお伝えします。自分自身だけでなく、家族や仲間を安全を守るために、ぜひ確認してください。

1. どうして大雨や水害が起こるのか?
 - ・ 前線が停滞 → 梅雨末期に大雨が続く
 - ・ 台風の接近・上陸 → 大雨+強風
 - ・ 大気が不安定 → 夏の午後に雷雲が連続発生
 - ・ 大雨がもたらす影響
 - 川の氾濫
 - 床上・床下浸水
 - 道路冠水
 - 地下施設への浸水



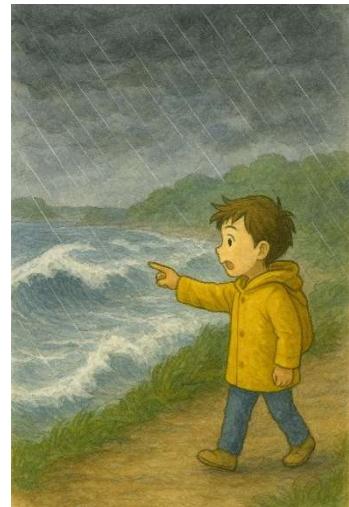
2. 避難するときのポイント
 - ・ 動きやすい服装（長靴は水がたまると動きにくくなる）
 - ・ 足元に注意（歩行可能水深：男性 70cm／女性 50cm までと言われている）
 - ・ 家族・近所と声を掛け合う
 - ・ 高齢者や病人は背負い、子どもは手をつなぐ
 - ・ 避難が困難なら建物の2階へ！



3. 絶対にしてはいけない行動

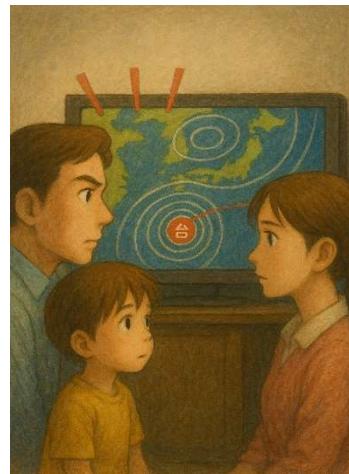
- ・ 田畠や川を見に行く
- ・ 屋根に登って作業する
- ・ 海辺や河川敷を見に行く

➡ 命を守る行動を最優先に！



4. 日ごろからできる備え

- ・ 防災情報をチェック（気象台・市町村からの警報）
- ・ ハザードマップで危険箇所・避難経路を確認
- ・ 災害用の非常用品や備蓄品の確認



下記の QR コードを参考にしてください

熊本防災

熊本市ハザードマップ



水害が予想されるときには、まず身の安全を最優先に行動しましょう。避難経路や安全な場所をあらかじめ確認し、周囲の状況を目で確かめながら、冷静に判断してください。何よりも、自分だけでなく家族や仲間の安全も意識して行動することを心がけてください。

【文責 全日制防災担当】

過去のぼうさい通信を見ることができます ◎ぼうさい通信(毎月 16 日発行)
本校HPにアクセスしてみよう。 <https://sh.higo.ed.jp/yusinkan/>
くまもとマイタイムライン(デジタル版 マイタイムライン)は、
<https://portal.bousai.pref.kumamoto.jp/timeline/#/>で作成可能です。